

# 静岡市の都市ビジョンと財政状況



平成24年10月

静岡市財政局財政部財政課

<http://www.city.shizuoka.jp/>

# 目次

## 第1部 静岡市の都市ビジョン

### プロフィール

広大な市域と温暖な気候(面積、気候) .....	1
東西交通の要所(交通、人口) .....	2
広域な都市圏の中心(静岡大都市圏及び商圏人口) ...	3
バランスのとれた産業の集積(産業構造、商業の集積) ...	4
地域に根づく企業(市内に立地する主な企業) ...	5

### 静岡市の都市ビジョン

#### 「鳥の眼」ビジョン

#### 「求心力が強く、世界中から人が集まるまち」

戦略的なMICEの推進 .....	7
シティプロモーションの推進 .....	8
創造都市・静岡の実現、 地域文化のみがきあげと発信 .....	9

#### 「虫の眼」ビジョン

#### 「災害に強く、安心・安全に人が暮らせるまち」

防災機能の強化 .....	10
子育て・教育環境の整備、 快適な生活環境の保全・整備、セーフティネットの整備 .....	11

#### 「都市ビジョン」を支える基盤整備

道路網の整備 .....	12
3つの都心と地域拠点の整備 .....	13

### 行財政改革の推進

行財政改革推進大綱実施計画 .....	14
新たな行財政改革の推進 .....	15

## 第2部 静岡市の財政状況

### 予算

財政規模 .....	16
予算の概要(一般会計) .....	17

### 決算

決算の概要(普通会計) .....	19
決算の推移(普通会計) .....	21
企業会計への繰出金の推移 .....	23
財政指標・健全化判断比率の状況 .....	24
基金残高の推移 .....	26

### 市債の状況

市債発行の推移(全会計) .....	27
市債発行の推移(普通会計) .....	28
公債費の推移(普通会計) .....	29
市債残高の推移(普通会計) .....	30
プライマリーバランスの推移(普通会計) .....	31

### 今後の見通し

財政の中期見通し .....	32
市債発行額、公債費の見込み .....	34
市債残高の見込み .....	35
格付け .....	36

# プロフィール ～ 広大な市域と温暖な気候 ～

## 面積

全国市区町村で6番目、  
政令指定都市では2番目の広さ

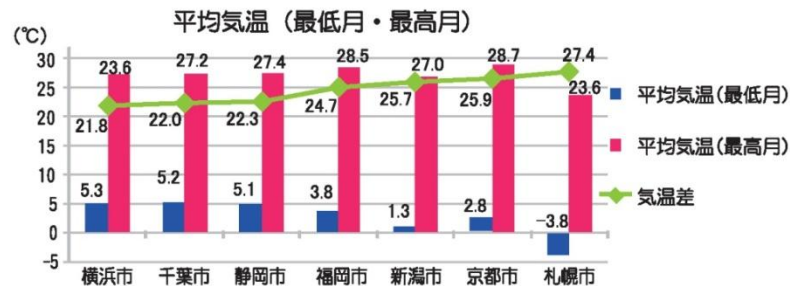
- 市域面積 1,411.85km<sup>2</sup>
- 都市計画区域面積 234.68km<sup>2</sup>



## 気候(平成23年)

温暖な海洋性気候、豊富な日照量

- 年間平均気温 16.9℃
- 年間の平均気温差 22.3℃
  - ・・・平均気温の最低月、最高月の気温差が小さい
- 年間日照時間 2,361.7時間



出典：気象庁「気象統計情報」

# プロフィール ~ 東西交通の要所 ~

## 交通

### 優位なアクセス環境

- 東海道新幹線
- 清水港(国際拠点港湾)、富士山静岡空港
- 東名高速道路、新東名高速道路(平成24年4月県内区間開通)

### 更なる充実

- 中部横断自動車道(新清水JCT-富沢IC間平成29年度開通予定)  
※平成24年8月1日時点工事着手率89%



## 人口

人口 722,116人

(住民基本台帳人口(日本人+外国人))

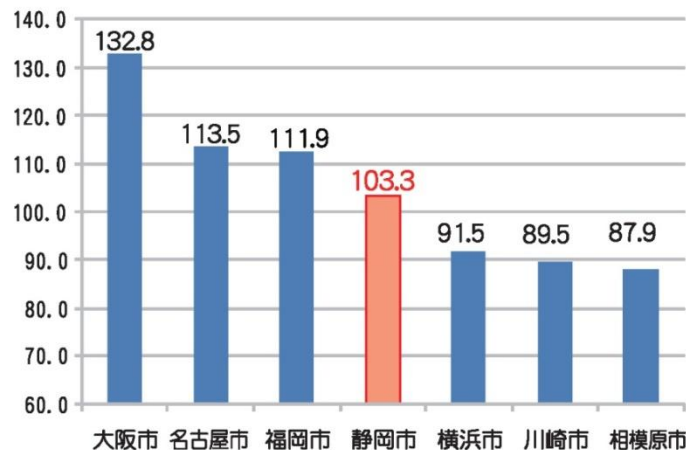
※平成24年8月末現在

昼夜間人口比率 103.3

(政令指定都市中第7位)

※総務省「国勢調査」(平成22年度)

昼夜間人口比率の政令指定都市比較



# プロフィール ～ 広域な都市圏の中心 ～

## 静岡大都市圏及び商圏人口

**大都市圏人口 約143万人**  
**商圏人口 約158万人**

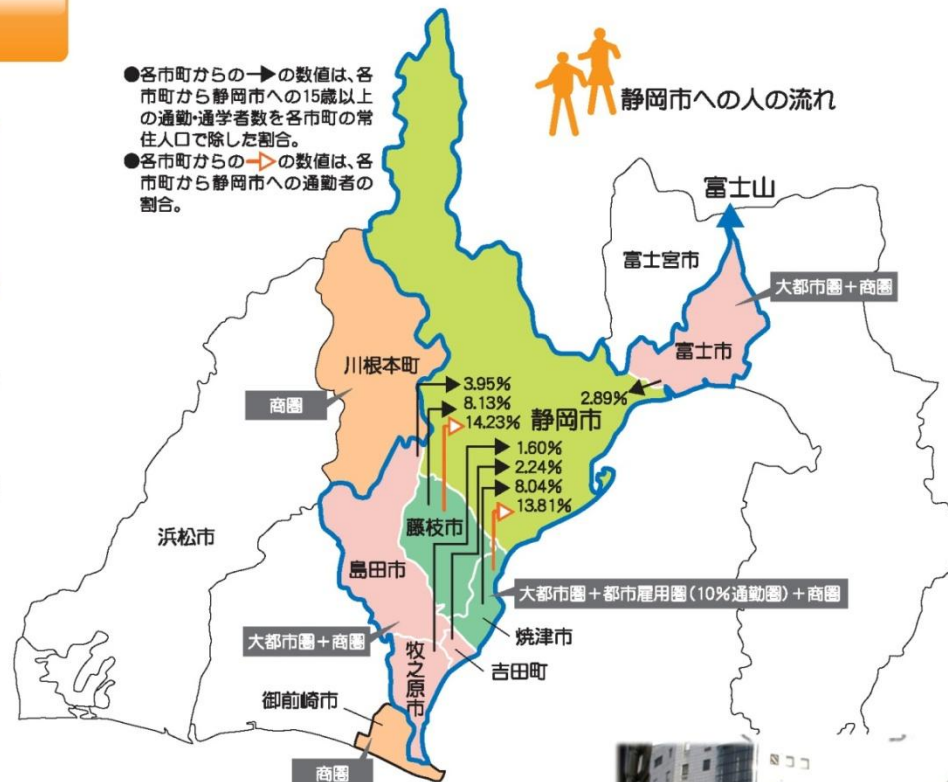
※大都市圏 中心市（静岡市）に加え、中心市への15歳以上の通勤・通学者が当該市町の常住人口の1.5%以上あり、かつ中心市と接続している市町を加えたもの

※商圏 消費需要（購買力）の5%以上を吸引している地域

※都市雇用圏 通勤者のうち10%以上が静岡市に通っている市町

商圏の核となる中心市街地に立地する大型商業施設

新静岡セノバ	27,765㎡
松坂屋	25,452㎡
伊勢丹	22,968㎡
パルコ	22,036㎡
丸井	13,456㎡
Shizuoka109	11,788㎡



資料：総務省「国勢調査」(平成22年度)、静岡県「静岡県の消費動向」(平成19年)を基に算出



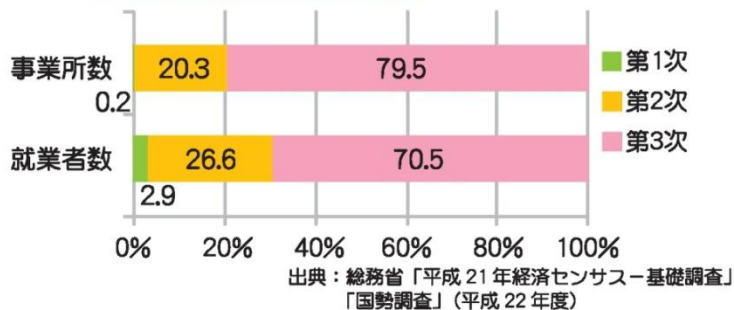
けやき通り（葵区）

# プロフィール ～ バランスのとれた産業の集積 ～

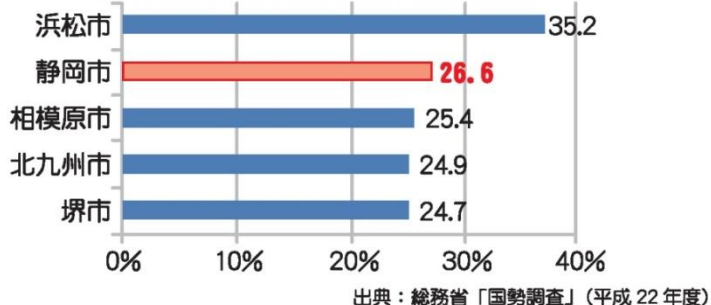
## 産業構造

- 第3次産業の商業を中心とした都市
- 清水港を中心とした製造業の立地が多く、第2次産業の割合も高い。
- 茶、みかんを中心とした第1次産業

### 事業所数・就業者数



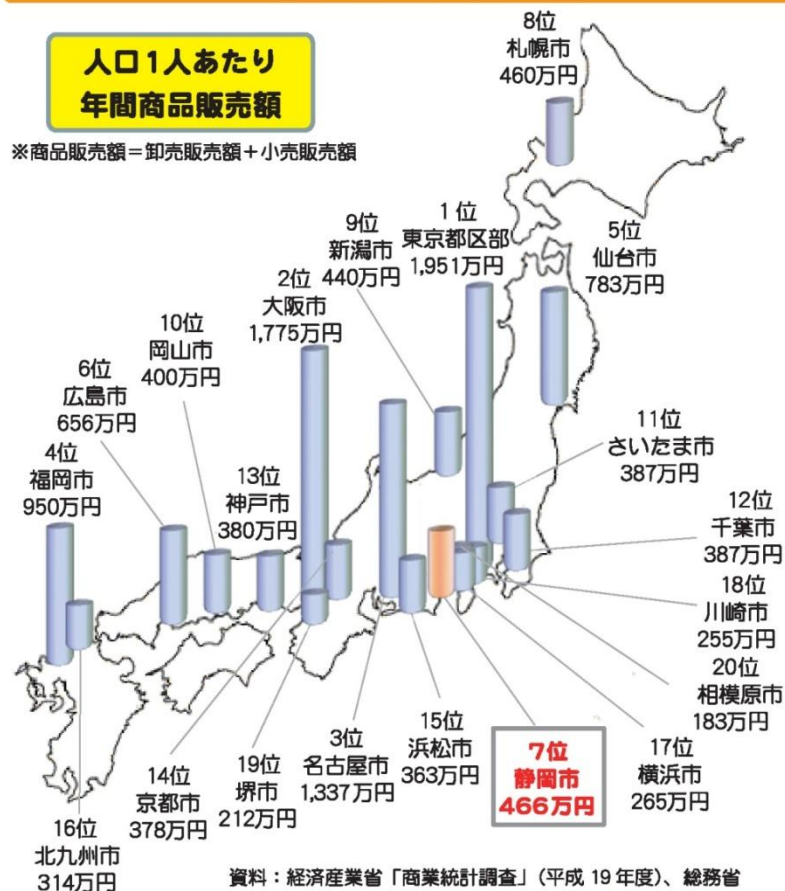
### 第2次産業就業者数 構成比



## 商業の集積

### 人口1人あたり 年間商品販売額

※商品販売額=卸売販売額+小売販売額



資料：経済産業省「商業統計調査」(平成19年度)、総務省「国勢調査」(平成22年度)より算出

# プロフィール ～ 地域に根づく企業～

## 市内に立地する主な企業

法人市民税収全体に占める  
上位10社の割合

年度	21年度	22年度	23年度
上位10社の占有率	19.7%	22.4%	23.1%

特定企業に傾斜していないことから、特定企業の業績に左右されない、安定した構造となっている。

メガネトップ  
(眼鏡等小売業)

村上開明堂  
(ミラー関連商品製造業)

静岡鉄道  
(鉄道業)

静岡銀行  
(銀行・信託業)

TOKAI  
(ガス・熱供給業)

静岡ガス  
(ガス・熱供給業)

●本社を置く企業

●製造拠点を置く企業

はごろもフーズ  
(水産食品製造業)

巴川製紙所  
(パルプ・紙製造業)

小糸製作所  
(電気機械器具製造業)

シャンソン化粧品  
(化粧品等製造業)

バンダイ  
(玩具等製造業)

清水エル・エヌ・ジー  
(ガス・熱供給業)

ジャスコ  
(自動車・同付属品製造業)

日本軽金属  
(非金属材料製造業)

鈴与  
(道路貨物運商)

清水銀行  
(銀行・信託業)

三井デッボンフロケミカル  
(有機化学工業製品製造業)

日立アプライアンス  
(機械器具製造業)

味の素製薬  
(医薬品製造業)

スター精密  
(時計・同部品製造業)

静岡新聞社  
(新聞出版業)

タミヤ  
(玩具等製造業)

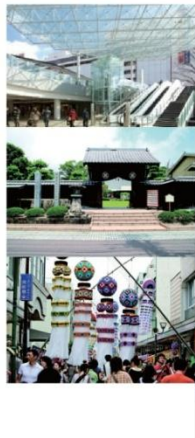
三菱電機  
(電気機械器具製造業)

# 静岡市の都市ビジョン

～ 静岡を「希望の岡」に～



鳥の眼で見る都市ビジョン  
「求心力が強く、  
世界中から人が集まるまち」



- ▶ 戦略的なMICE（マイス）の推進
- ▶ 創造都市・静岡の実現
- ▶ 地域文化のみがきあげと発信
- ▶ 地元産業の活性化
- ▶ シティプロモーションの推進



虫の眼で見る都市ビジョン  
「災害に強く、安心・安全に  
人が暮らせるまち」

- ▶ 防災機能の強化
- ▶ 子育て・教育環境の整備
- ▶ 超高齢社会への対応
- ▶ セーフティネットの整備
- ▶ 快適な生活環境の保全・整備



まちみがき

「都市ビジョン」を支える基盤整備

行財政改革の推進

「新しい公共経営」

魅力ある地域資源



# 「鳥の眼」ビジョン「求心力が強く、世界中から人が集まるまち」

## 戦略的なMICE(※)の推進

### MICEの推進を図る取り組み

#### シズオカ×カンヌウィーク2012

姉妹都市カンヌの「カンヌ映画祭」にあわせて葵区・清水区中心市街地で「シズオカ×カンヌウィーク2012」を開催。

平成24年5月25日～27日開催



来場者数  
約**13**万人

#### 第24回国連軍縮会議in静岡

静岡市の国際平和に対する協力姿勢を国内外に示すとともに、国際的な知名度を高め、地域経済の活性化につなげる。

平成25年1月30日  
～2月1日開催予定

第23回国連軍縮会議  
in松本の様子



### 観光・交流拠点のみがきあげ



※MICE:多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどのことで、企業等の会議(Meeting)、インセンティブ旅行(Incentive Travel)、国際機関等が行う国際会議(Convention/Conference)、イベント・見本市・展示会(Event/Exhibition)の頭文字を取りこう呼ばれている。

# 「鳥の眼」ビジョン「求心力が強く、世界中から人が集まるまち」

## シティプロモーションの推進

### 新たな情報発信

- 静岡市交流会in東京  
首都圏の本市関係者等とのネットワーク構築を図り、本市の情報発信力を強化する。  
(平成24年12月19日開催予定)  
参加対象者：行政関係者、経済界、スポーツ界等
- 地域の魅力発信セミナー(地方視察ツアー)  
外交団に本市の魅力「見て」「聞いて」「触れて」もらうことでアピールし、海外からの誘客増加やコンベンション誘致につなげる。  
(平成24年11月1日～2日開催予定)  
参加目標国等：15か国、30人程度



ホビースクエア

### 日本最大の大道芸イベント

大道芸ワールドカップ  
観光客数 **173** 万人  
(平成23年度)

世界各国から集まる魅力溢れる  
パフォーマンスの競演



20年の  
歴史

### 静岡市出身の著名人

#### 観光親善大使

本市の認知度及び都市イメージの向上を図るため、一役かっただいている。



森 理世 さん 春風亭 昇太 さん

#### 国内外で活躍されている方々

伊藤元重さん(東京大学大学院経済学研究科教授、総合研究開発機構(NIRA)理事長、静岡市まちみがきアドバイザー)、三浦知良さん(横浜FC所属プロサッカー選手)、久保田利伸さん(音楽家) など

### しずおかイメージの定着・向上

- ホビーマチ静岡  
「模型の世界首都」として世界中の模型ファンが集まるまちへと成長している。
- 「静岡市はいいねえ。」  
キャンペーン事業  
(さくらももこさんのイメージキャラクターを使用)

プラモデル生産量  
全国シェア約 **80%**



ラッピングバス

ホビーショー

# 「鳥の眼」ビジョン「求心力が強く、世界中から人が集まるまち」

## 創造都市・静岡の実現

### 豊富な地域資源の活用

#### お茶

集散量日本一



#### 安倍川の水



平成の名水百選

#### わさび

栽培発祥の地



#### マグロ

水揚量日本一



#### 桜えび

水揚量日本一



#### 駿河漆器

伝統工芸



「寿司の都・しずおか」の実現を目指します。



## 地域文化のみがきあげと発信

### 歴史的価値の全国への情報発信

#### 徳川家康公ゆかりの地

「駿府公園」から「駿府城公園」へ名称変更  
駿府城「坤櫓(ひつじさるやぐら)」の建設

#### 徳川家康公顕彰400年記念プロ事業

「第70期将棋名人戦七番勝負第4局」  
森内俊之名人 対 羽生善治二冠  
平成24年5月22日～23日開催



### 中山間地域の活性化の推進



本市の面積の大半は、豊かな自然が残る山間の地域。時間はゆったりと流れ、都会では味わえない魅力ある生活と環境がある。ここを「奥静岡」＝「オクスズ」の愛称でPR

# 「虫の眼」ビジョン 「災害に強く、安心・安全に人が暮らせるまち」

## 防災機能の強化

### 公共施設耐震化の着実な推進

市立小中学校、幼稚園  
市立保育所の耐震化率 **100.0%**  
(平成24年4月1日現在)

※ 本調査は、I s 値(耐震指標)  $\geq 0.7$ の公共施設耐震化の割合。  
出典：静岡市建築総務課「公共建築物の耐震対策の現状(平成24年5月)」

### 災害発生時の情報収集

#### 静岡市 オフロードバイク隊

- ・全国に先駆けて平成8年4月に発足
- ・政令指定都市では静岡市のみ
- ・災害時の初期情報の収集・伝達



水防演習

#### 東日本大震災災害派遣

避難所支援活動の指導  
や沿岸付近の津波被害  
の情報収集等を実施



### 津波対策

#### 津波避難ビル指定の増加

津波避難ビルについては、東日本大震災以降、緊急津波対策事業において追加指定を進めている。



平成22年度末時点指定数

平成23年度末時点指定数

57施設

110施設

#### 津波避難施設補助

民間施設等を有効活用した津波避難ビルの指定を促進するため、外付け階段設置や屋上フェンス設置などの整備費を助成している。



外付け階段設置

# 「虫の眼」ビジョン「災害に強く、安心・安全に人が暮らせるまち」

## 子育て・教育環境の整備

### 待機児童の解消対策

#### 全国初の待機児童園「おひさま」

平成22年に開園した「おひさま」は、育児休業明けで仕事への復帰が決まっているなど、緊急に保育を必要とする3歳未満の児童を保育園に入園できるまで保育する施設。



#### 人口1万人あたり待機児童数

1位	新潟市・岡山市・北九州市	0人
4位	熊本市	0.01人
5位	静岡市	0.57人

出典：東洋経済新報社「都市データパック2012年度版」より算出

### 教育環境の整備

#### 学校応援団推進事業

- ・学校と保護者、地域住民が連携
- ・地域ボランティアによる学校応援体制

#### 市内全129校の小中学校へ拡充



学校応援団による活動事例  
(下校の安全確保)

## 快適な生活環境の保全・整備

### 快適な移動環境の確保

- バリアフリー化の推進
- 自転車道ネットワークの整備



### 省エネ社会の推進

- 防犯灯のLED化、  
住宅用太陽光発電設置助成



## セーフティネットの整備

### 急病センター整備

#### 利用しやすく、安心して 受診できる環境整備

- ・静岡、清水両地域からアクセス  
しやすい東静岡地区に移転
- ・市域全体の夜間帯の初期救急  
医療体制の一元化



平成25年4月供用開始予定

# 「都市ビジョン」を支える基盤整備

## 道路網の整備

○新東名高速道路 静岡県内区間開通

○東西軸を強化する南北幹線道路の整備

○新東名・中部横断自動車道へのアクセス強化



新清水ジャンクション



国道150号バイパス



オクシズ(奥静岡)へのアクセス向上

中部横断自動車道  
(新清水JCT-富士IC間  
平成29年度開通予定)

新東名高速道路  
(御殿場JCT~三ヶ日JCT間  
平成24年4月開通)

- 「新東名高速道路」開通
  - 幹線道路等との連携による観光・物流の促進
  - 郊外、中山間地、中心市街地間の移動時間の短縮による利便性の向上
  - 渋滞解消や災害に強い道路ネットワークの構築
  - 「オクシズ(奥静岡)」の魅力発信・・・新東名の開通によりアクセス向上
- 「中部横断自動車道」建設
  - 新東名高速道路等との連携により、更なる観光・物流の発展可能性

# 「都市ビジョン」を支える基盤整備

## 3つの都心と地域拠点の整備



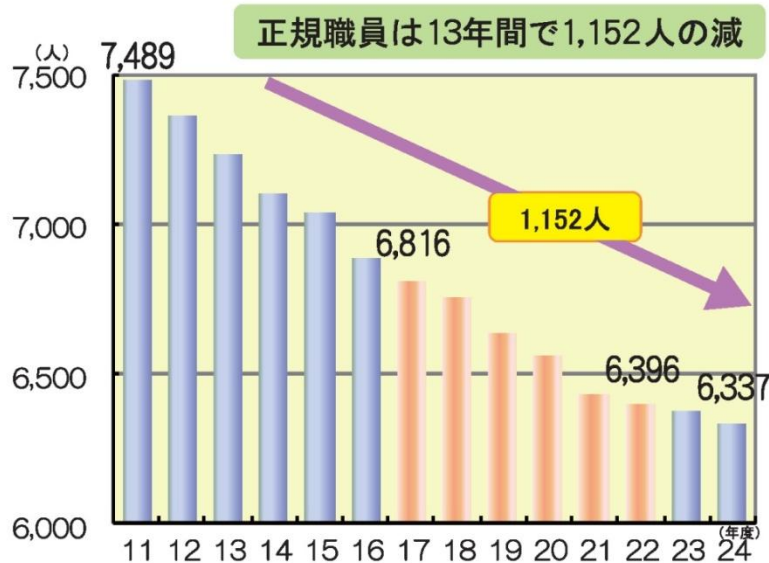
# 行財政改革の推進 ~ 行財政改革推進大綱実施計画 ~

## これまでの行財政改革の成果 平成17～21年度

職員純減  
**420人(6.2%)**

効果額  
**392億円**

### 職員数の推移



## 現在の行財政改革の計画 平成22～26年度

平成22年3月に策定した新たな静岡市行財政改革推進大綱では、「行政と民間の役割分担・協働による行政経営」を理念として、市民満足度の高い都市経営を目指している。

対象事業

219の事務事業

計画額

**238億円**

#### ●主な節減項目

- 適正な定員管理の推進 65億円
- 組織・機構等の見直し 30億円
- 民間活力の活用 21億円
- 下水道事業の経営改善 39億円
- 補助金等の見直し 27億円
- 公共事業等のコスト縮減 20億円

#### ●主な収入増項目

- 未利用土地・建物の有効活用、処分促進 29億円

### 平成23年度までの取組状況

※実績には計画外の取組含む

(百万円)

項目		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	合計
節減	計画	2,495	3,081	5,428	3,963	4,065	19,032
	実績	7,885	<b>8,930</b>	—	—	—	16,815
収入増	計画	1,051	757	1,002	898	1,011	4,719
	実績	884	<b>829</b>	—	—	—	1,713



# 行財政改革の推進 ～ 新たな行財政改革の推進 ～

## 行財政改革推進大綱実施計画【追加版】 平成24～26年度

平成23年10月に「まちみがき戦略推進プラン」を策定し、市民の不安を安心に変える施策を重点的に推進することとした。

この「まちみがき戦略推進プラン」を推進するため、限られた経営資源のより一層の選択と集中を図り、新たな財源を確保する。

### 対象事業

92の事務事業

### 計画額

**59億円**  
(最終目標80億円)

#### ●主な取組項目

- ・事務事業の見直し・統廃合 2.8億円
- ・公共事業等のコスト縮減 1.9億円
- ・総人件費の縮減 7億円

## 新たに採り入れた手法

静岡市版事業仕分け  
「さいこう静岡！静岡市事務事業市民評価会議」

平成23年度に導入し、本年も継続して実施  
【実施年度】平成23年度から平成26年度までの4か年度

### 評価結果

平成23年度	7月30日(土) ～31日(日)
不要(廃止)	7事業
民間	2事業
市(改善)	36事業
市(現行どおり)	5事業

平成24年度予算  
1億円縮減

平成24年度	7月21日(土) ～22日(日)
廃止(民間含む)	4事業
改善(縮小)	3事業
改善(再構築)	17事業
改善(拡大)	6事業
現行継続	8事業



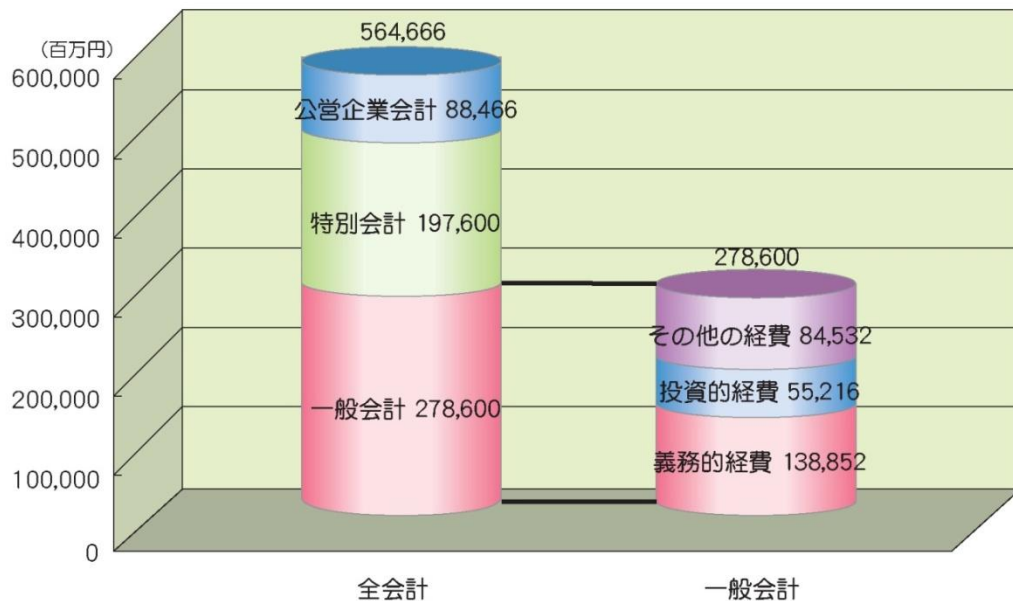
結果を翌年度  
以降の予算に  
反映

# 予算 ～ 財政規模（平成24年度当初予算）～

静岡市は一般会計のほか、特別会計14会計（国民健康保険事業会計、介護保険事業会計など）、公営企業会計3会計（水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計）を設置。

全会計合計(18会計)は、5,647億円。

一般会計は、2,786億円で前年度比0.9%、24億円の増。

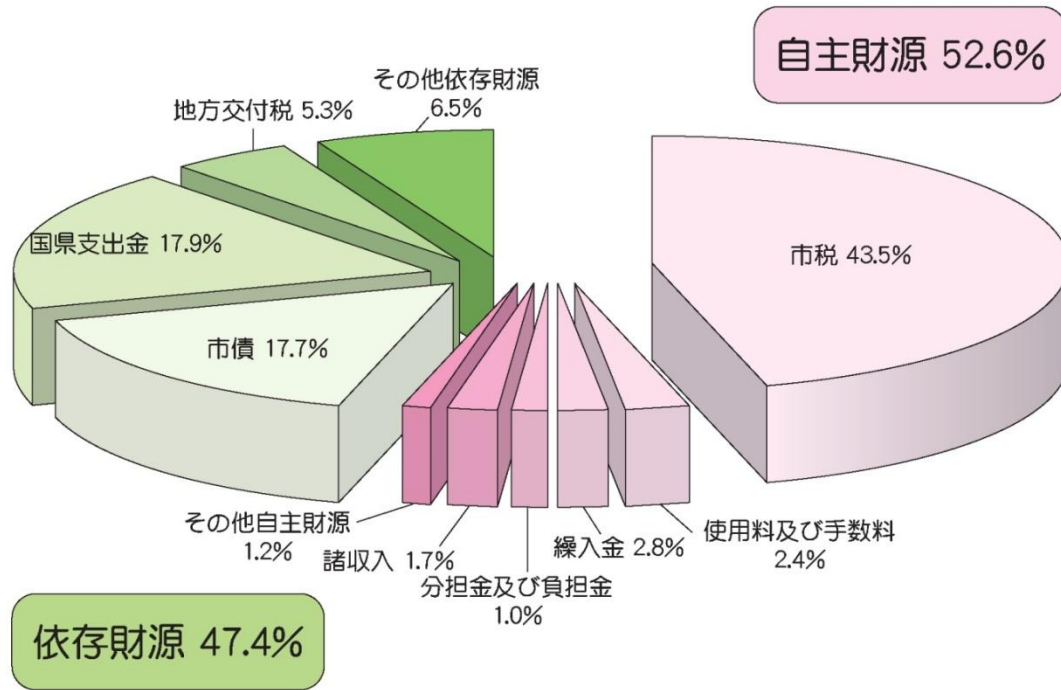


(単位：億円、%)

	平成24年度	平成23年度	増減	増減率
一般会計	2,786	2,762	24	0.9
特別会計	1,976	1,870	106	5.7
公営企業会計	885	876	9	1.0
合計	5,647	5,508	139	2.5

# 予算 ～ 予算の概要（平成24年度一般会計当初予算 歳入）～

歳入予算総額2,786億円のうち、  
地方税の割合は43.5%（政令市中第7位、政令市平均38.5%）で1,212億円。



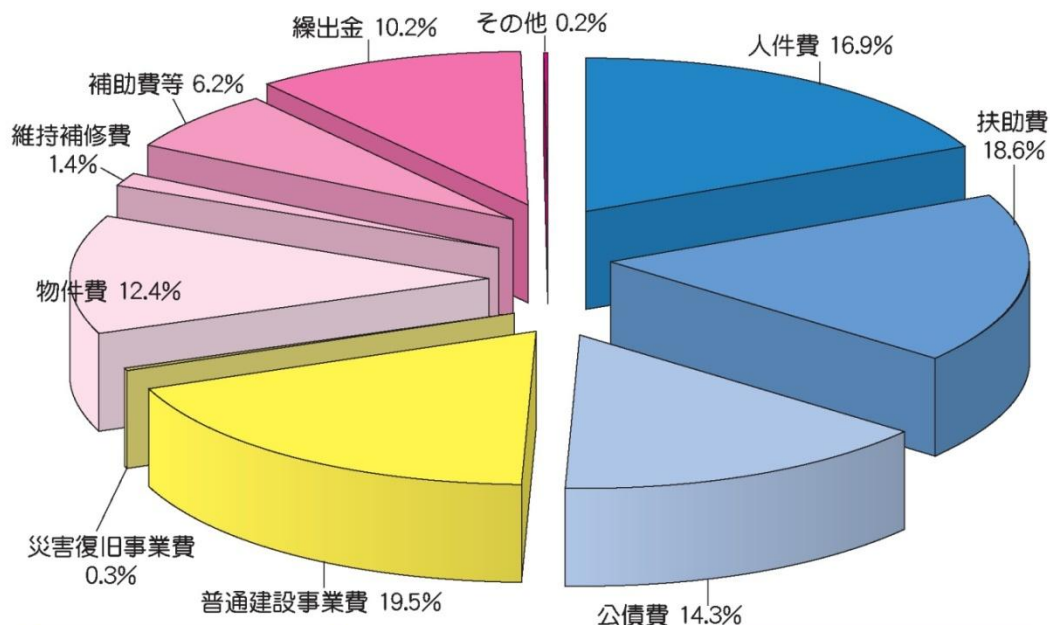
## 主な歳入の状況

(単位：億円、%)

	平成24年度	平成23年度	増減	増減率
市 税	1,212	1,236	△ 24	△ 1.9
市 債	494	471	23	4.9
国県支出金	497	533	△ 36	△ 6.8
地方交付税	147	106	41	38.7
繰 入 金	78	66	12	18.2
歳 入 合 計	2,786	2,762	24	0.9

# 予算 ～ 予算の概要（平成24年度一般会計当初予算 歳出）～

歳出予算総額2,786億円のうち、  
 義務的経費の割合は49.8%（政令市中第14位、政令市平均52.3%）で1,389億円。  
 投資的経費の割合は19.8%（政令市中第2位、政令市平均11.1%）で552億円。



投資的経費 19.8%

義務的経費 49.8%

## 主な歳出の状況

（単位：億円、%）

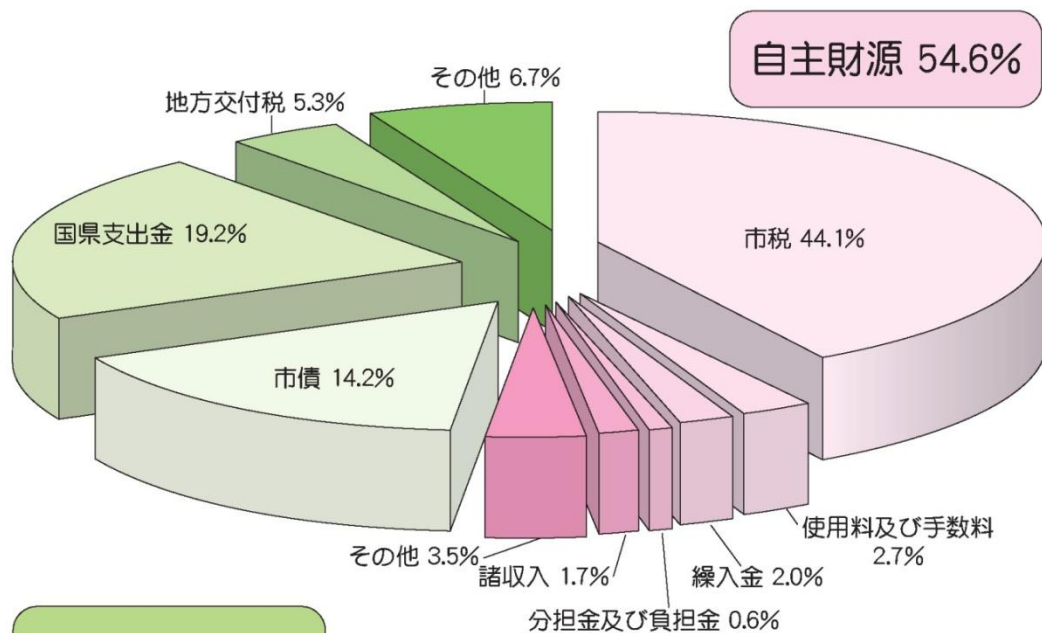
	平成24年度	平成23年度	増減	増減率
義務的経費	1,389	1,404	△ 15	△ 1.1
人件費	470	487	△ 17	△ 3.5
扶助費	517	526	△ 9	△ 1.7
公債費	402	391	11	2.8
投資的経費	552	505	47	9.3
歳出合計	2,786	2,762	24	0.9

# 決算 ～ 決算の概要（平成23年度普通会計決算 歳入）～

歳入決算総額は2,828億円、前年度比2.0%の増。

市税は1,248億円で0.2%の減。市債は402億円で0.7%の減。

国県支出金は541億円で3.2%の増。地方交付税は149億円で0.6%の減。



依存財源 45.4%

## 主な歳入の状況

(単位：億円、%)

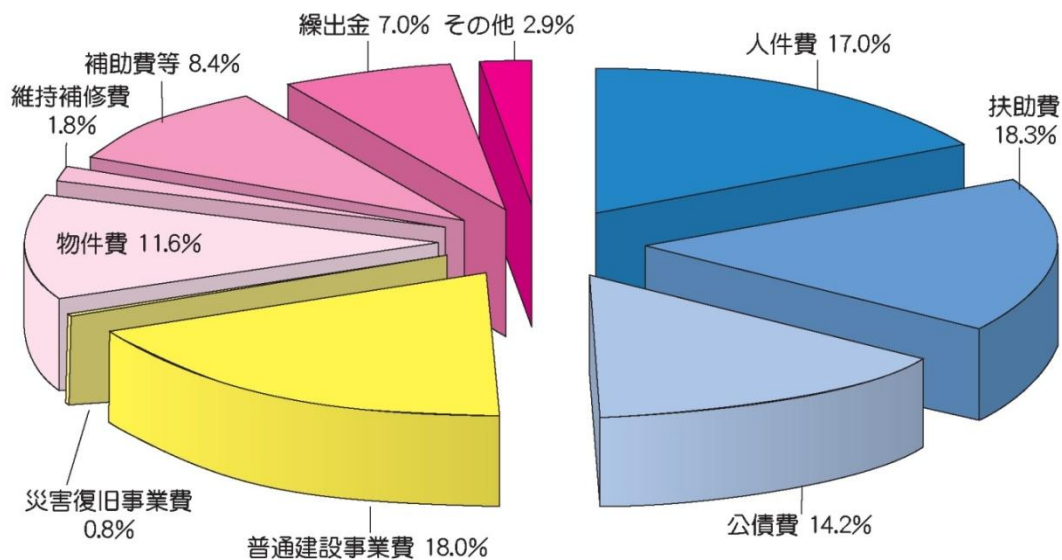
	平成23年度	平成22年度	増減	増減率
市 税	1,248	1,250	△ 2	△ 0.2
個人市民税	394	407	△ 13	△ 3.2
法人市民税	111	109	2	1.8
固定資産税	541	540	1	0.2
都市計画税	109	107	2	1.9
その他	93	87	6	6.9
市 債	402	405	△ 3	△ 0.7
国県支出金	541	524	17	3.2
繰入金	55	20	35	175.0
歳入合計	2,828	2,773	55	2.0

# 決算 ～ 決算の概要（平成23年度普通会計決算 歳出）～

歳出決算総額は2,743億円、前年度比2.1%の増。

義務的経費は1,358億円で2.2%の増。

投資的経費は516億円で0.6%の増。



投資的経費 18.8%

義務的経費 49.5%

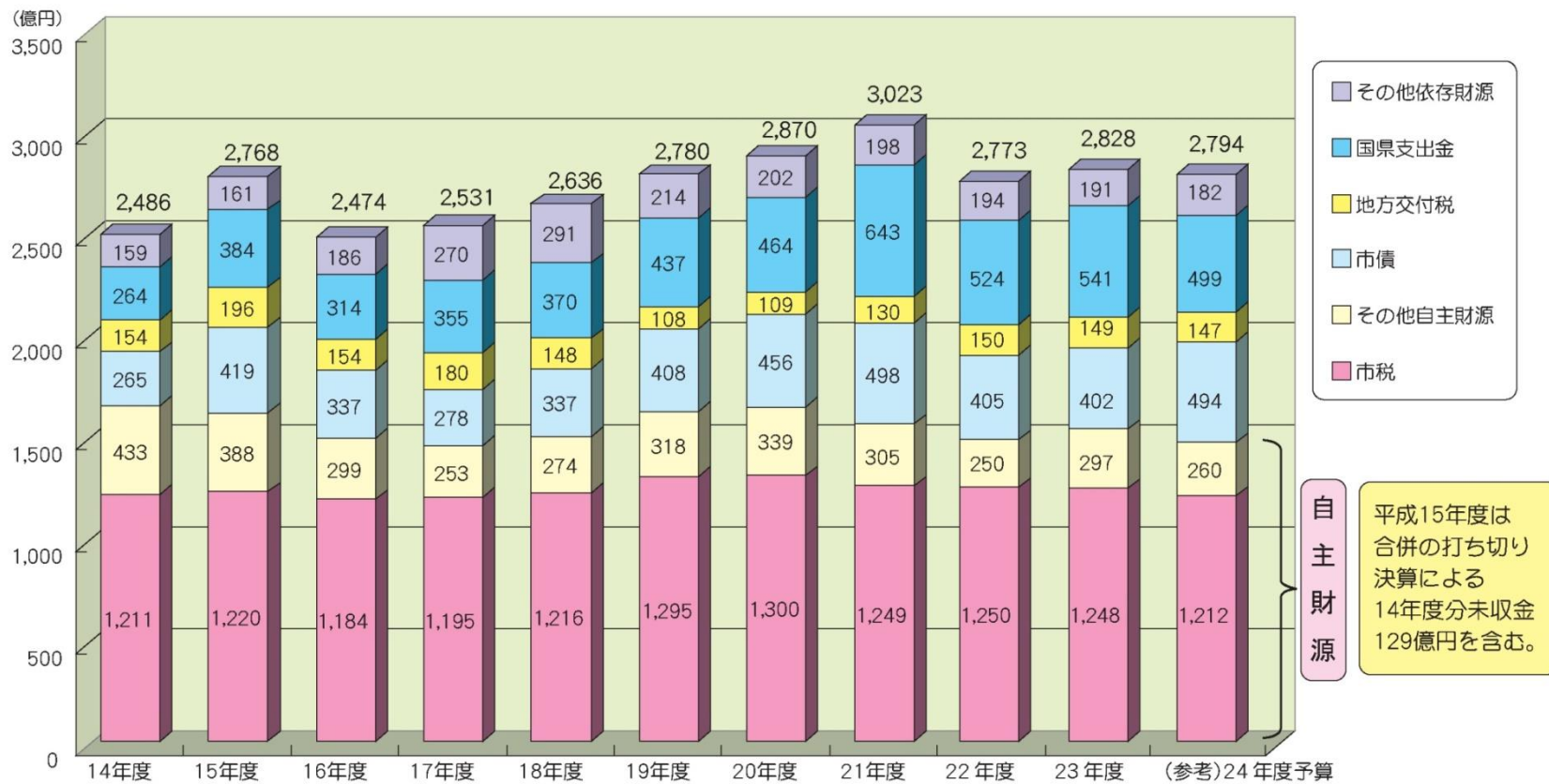
## 主な歳出の状況

(単位：億円、%)

	平成23年度	平成22年度	増減	増減率
義務的経費	1,358	1,329	29	2.2
人件費	467	471	△ 4	△ 0.8
扶助費	502	470	32	6.8
公債費	389	388	1	0.3
投資的経費	516	513	3	0.6
歳出合計	2,743	2,687	56	2.1

# 決算 ～ 決算の推移（普通会計 歳入）～

歳入総額は増加傾向から横ばいへ



# 決算 ～ 決算の推移（普通会計 歳出）～

人件費は減少傾向、扶助費・公債費は増加傾向。  
投資的経費は平成21年度をピークに抑制。

職員給を抑制しつつ、  
合併に伴う建設計画に  
基づく事業など政令  
指定都市の基盤整備を  
着実に推進。

平成22年度以降は、  
抑制的に管理しながら  
必要な事業を推進。



義務的経費

平成15年度は  
合併の打ち切り  
決算による  
14年度分未払金  
121億円を含む。

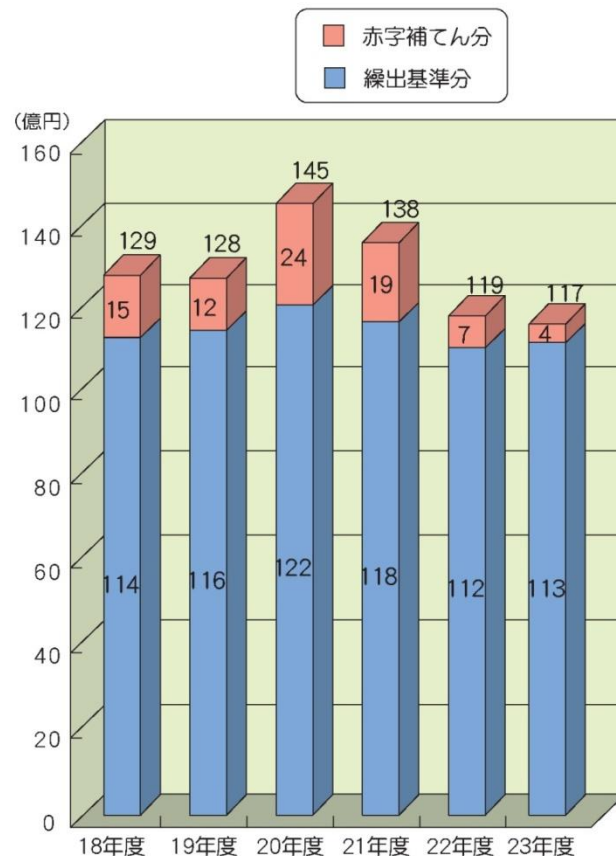


# 決算 ～ 企業会計への繰出金の推移 ～

## 繰出金総額、赤字補てん分は減少

(単位：百万円)

会計	区分	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度
水道事業会計	繰出基準分	56	57	56	49	51	56
	赤字補てん分	0	0	0	0	0	0
	計	56	57	56	49	51	56
下水道事業会計	繰出基準分	9,227	9,181	9,450	9,048	8,283	8,284
	赤字補てん分	891	737	693	457	0	0
	計	10,118	9,918	10,143	9,505	8,283	8,284
病院事業会計	繰出基準分	2,081	2,407	2,676	2,728	2,870	2,932
	赤字補てん分	600	460	1,665	1,486	695	446
	計	2,681	2,867	4,341	4,214	3,565	3,378
合計	繰出基準分	11,364	11,645	12,182	11,825	11,204	11,272
	赤字補てん分	1,491	1,197	2,358	1,943	695	446
	計	12,855	12,842	14,540	13,768	11,899	11,718



# 決算 ～ 財政指標・健全化判断比率の状況（平成23年度）～

財政力指数

**0.900**

(政令市平均 0.847)

経常収支比率

**91.0%**

(政令市平均 94.4%)

健全な財政運営を維持

実質赤字比率

—

連結実質赤字比率

—

実質公債費比率

**12.3%**

(政令市平均 11.8%)

将来負担比率

**102.0%**

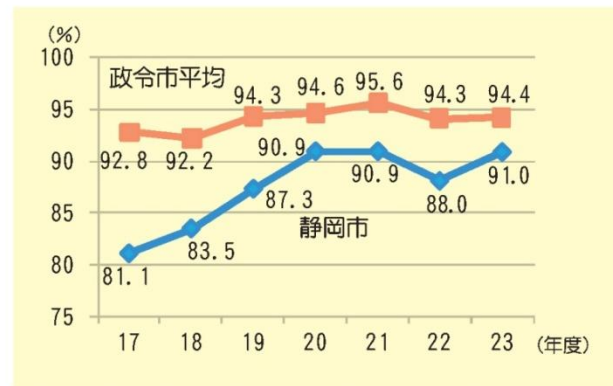
(政令市平均 142.5%)

# 決算 ～ 財政指標・健全化判断比率の推移 ～

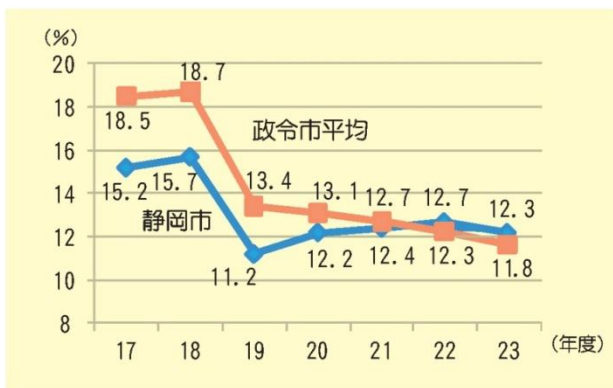
## 財政力指数



## 経常収支比率



## 実質公債費比率



## 将来負担比率



# 決算 ～ 基金残高の状況（平成23年度）～

## 基金の現在高

**301億円**

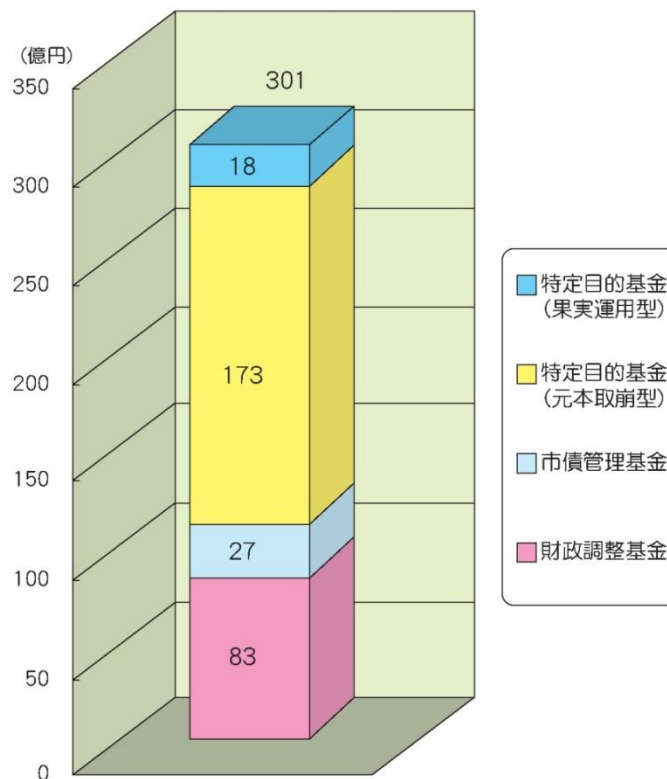
**（満期一括償還積立金を含んだ場合は372億円）**

- 今後の公債費償還負担等を考慮し、年度間の財源調整を行うため、基金の残高を確保している。
- 財政調整基金 83億円、市債管理基金 27億円
- ※ 基金の現在高は、財政調整基金、市債管理基金及びその他特定目的基金の合計額。
- ※ 満期一括償還積立金を含んだ場合の市債管理基金は98億円となる。

## 市民一人あたりの基金残高 **42千円**

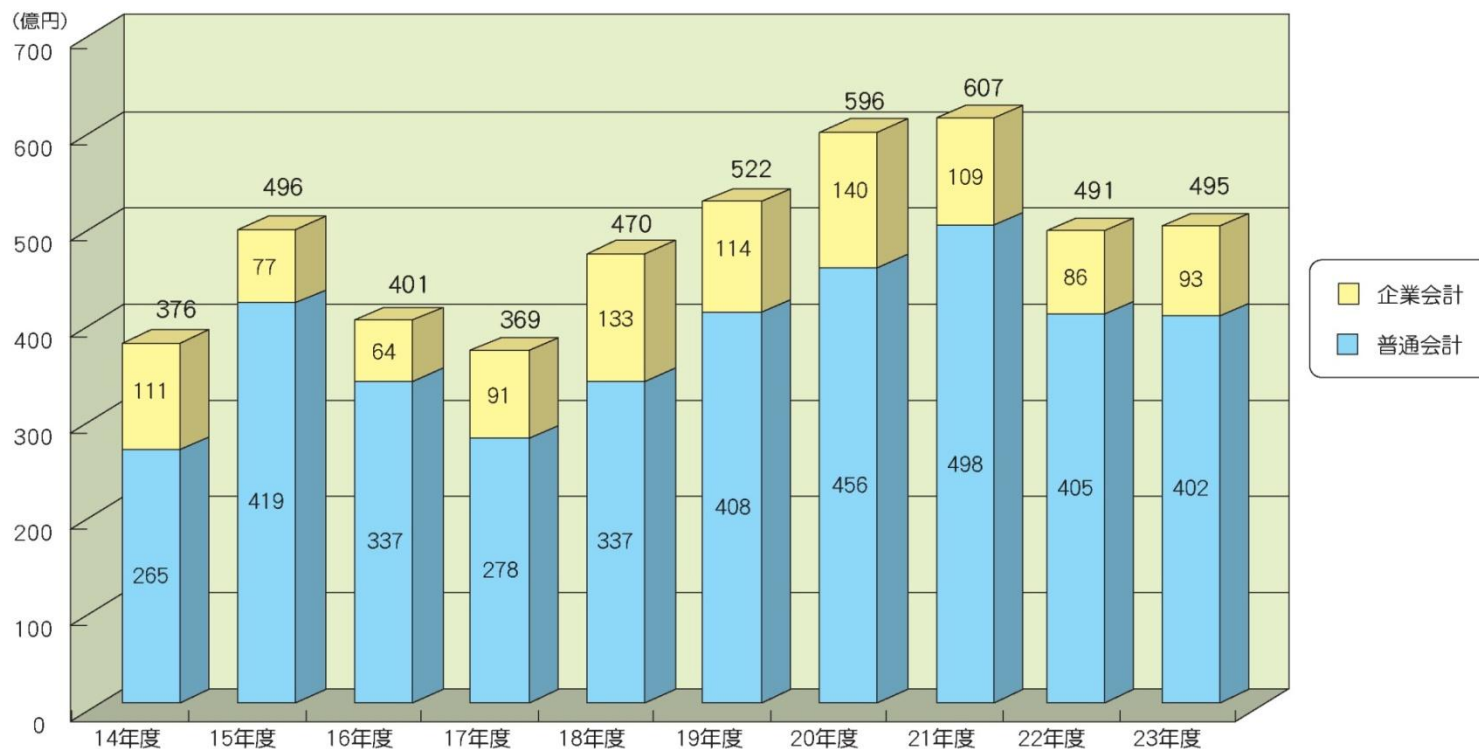
- 市民一人あたりの基金残高の政令市平均は42千円となっており、政令市の中では4番目に多い残高となっている。
- ※ 人口は、平成24年3月31日現在の住民基本台帳人口を使用。

平成23年度末基金現在高



# 市債の状況 ～ 市債発行の推移（全会計）～

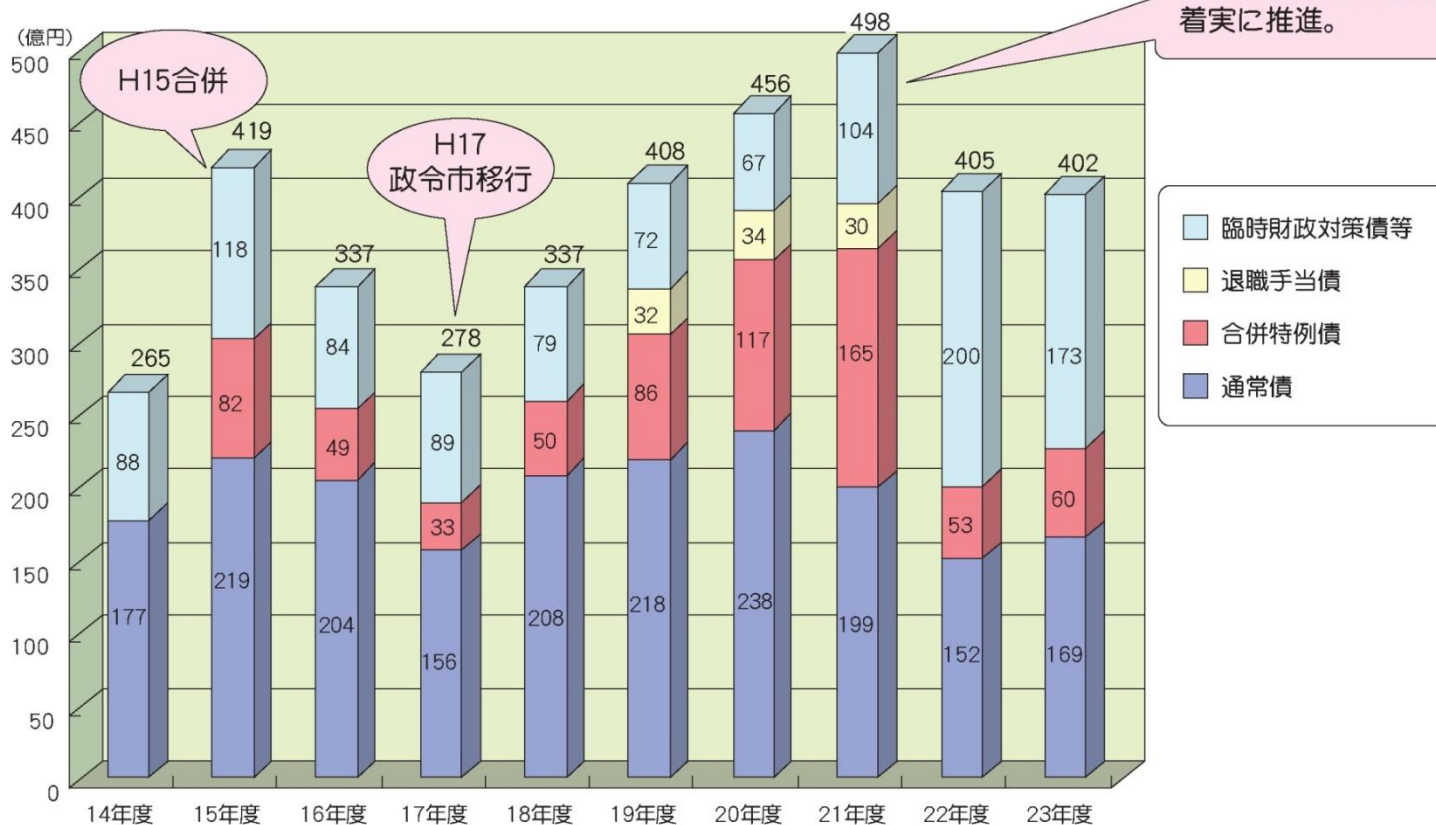
都市基盤の整備、将来の財政負担を考慮しつつ、市債を発行



# 市債の状況 ～ 市債発行の推移（普通会計）～

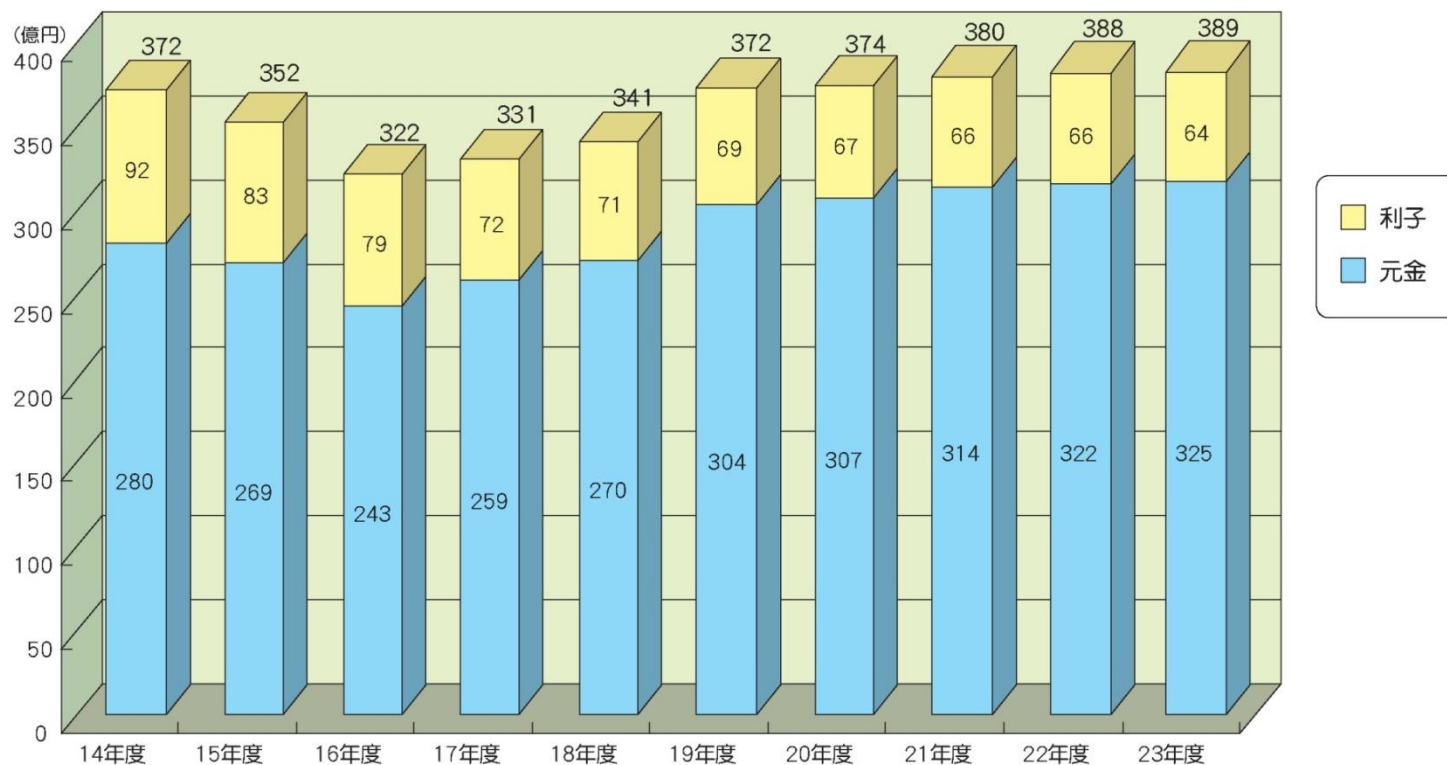
合併・政令市事業を着実に推進するために市債を発行  
平成22年度から抑制的に管理

合併特例債など地方財政措置の手厚い地方債を活用し、小中学校耐震化、新清掃工場建設、国県道整備等の事業を着実に推進。



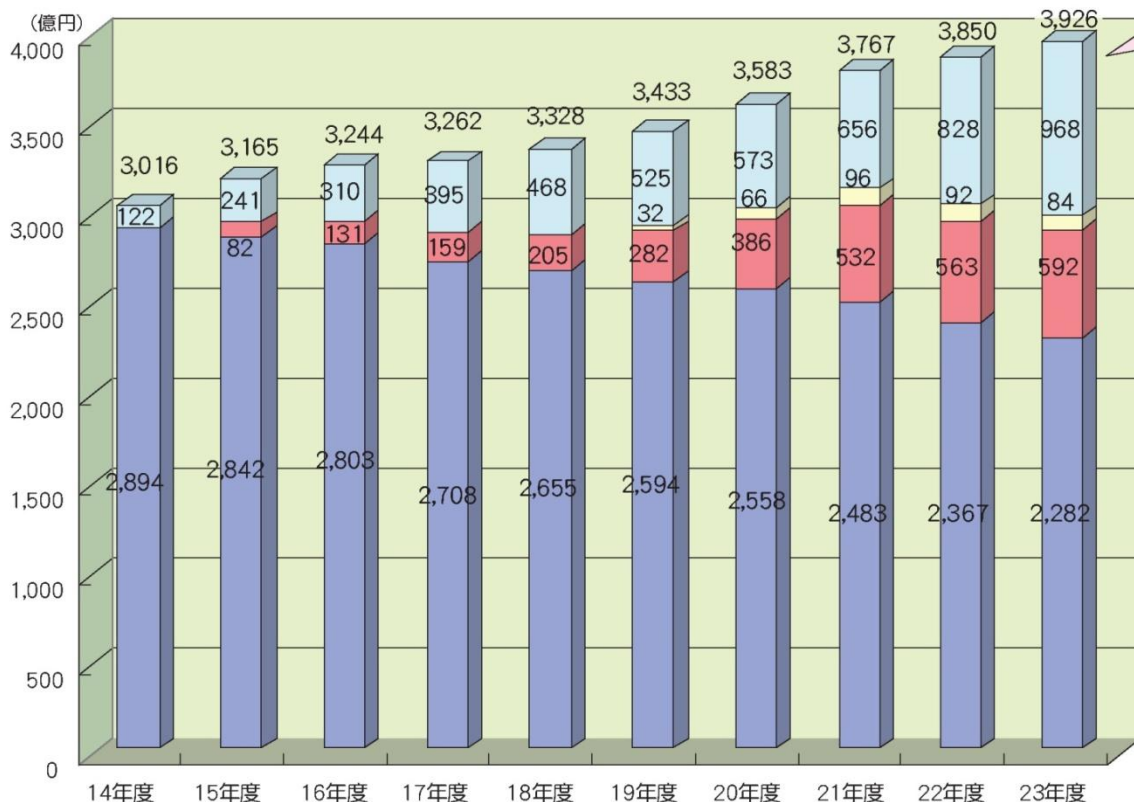
# 市債の状況 ～ 公債費の推移（普通会計）～

平準化して安定的に償還 300億円台で推移



# 市債の状況 ～ 市債残高の推移（普通会計）～

## 臨時財政対策債を除くと緩やかに減少



臨時財政対策債等の増加により、市債残高は増加しているが、通常債の残高は、緩やかに減少している。

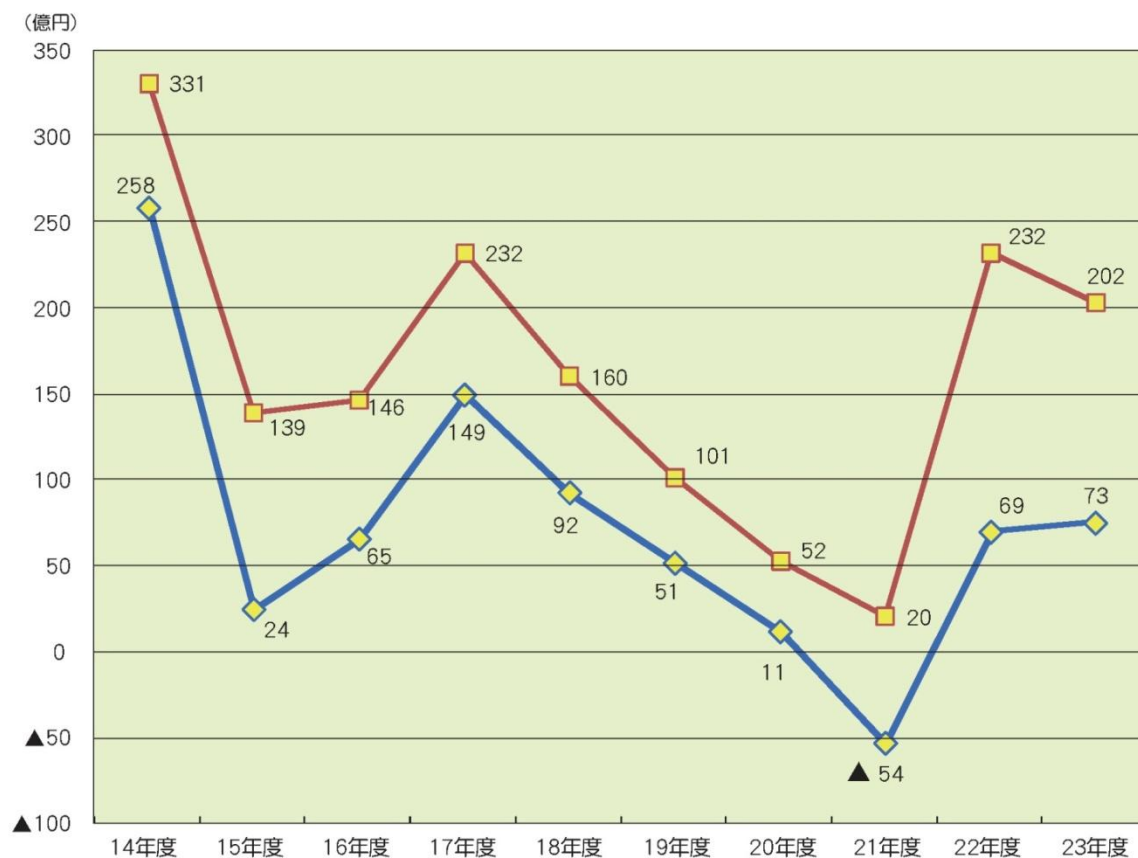
- 臨時財政対策債等
- 退職手当債
- 合併特別債
- 通常債

市民一人あたりの市債残高は550千円。政令市の中では8番目に少ない額となっている。(政令市平均は632千円)



# 市債の状況 ～プライマリーバランスの推移（普通会計）～

## 臨時財政対策債を含めても黒字を維持



プライマリーバランス（基礎的財政収支）は、市債を除いた歳入と公債費を除いた歳出との差引額。

$(\text{歳入総額} - \text{市債}) - (\text{歳出総額} - \text{公債費})$

■ 市債に臨時財政対策債を含めない場合

◆ 市債に臨時財政対策債を含む場合

決算ベースで作成

# 今後の見通し ～ 財政の中期見通し（平成24年2月公表）～

○国の経済見通し等を基にした一定の条件により、平成24年度当初予算をベースに平成27年度までの財政収支を機械的に試算したものだ。

## 1 試算の前提条件

### (1) 期間及び対象

平成24年度から平成27年度までの一般会計予算

### (2) 経済成長率

「平成24年度予算の後年度歳出・歳入への影響試算」（平成24年1月財務省公表）における名目経済成長率

平成24年度：+2.0%    平成25年度：+1.4%    平成26年度：+1.5%    平成27年度：+1.6%

## 2 試算方法

区 分		考 え 方
歳 入	市 税	名目経済成長率×弾性値（1.1）+ 税制改正等影響分（固定資産税・都市計画税・たばこ税は、個別に推計）
	地方譲与税・県税交付金等	名目経済成長率×弾性値（1.1）（軽油引取税交付金・地方特例交付金は、個別に推計）
	地 方 交 付 税 （臨時財政対策債を含む）	現行制度を前提に推計。 基準財政需要額については、特殊要因として算入されている額及び臨時財政対策債の影響を考慮して推計。 基準財政収入額は、市税等の増減に連動。
	国 ・ 県 支 出 金	原則として歳出推計額に連動。
	市 債	原則として歳出推計額に連動。
	そ の 他 の 歳 入	原則として平成24年度当初予算に特殊要因を加味して推計（財政調整基金等5基金からの繰入金は除く）
歳 出	人 件 費	定員管理計画、新陳代謝等を踏まえ推計。退職手当は、現時点における退職者数の見込みに基づき推計。
	扶 助 費	これまでの推移等を踏まえ個別に推計。
	公 債 費	既発行分は積上げ。新規発行分は、10年債の利率2.0%を基準に推計。
	投 資 的 経 費	年度間の変動の大きい箱物等建設事業については、実施年度等を踏まえ推計、災害復旧事業については平成23年度当初予算、その他の経費は平成24年度当初予算と同額で推計。
そ の 他 の 経 費	原則として平成24年度当初額に特殊要因を加味して推計。他会計繰出金は、個別に推計。	

### 3 試算状況

(単位：億円)

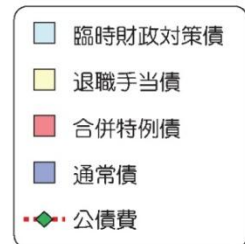
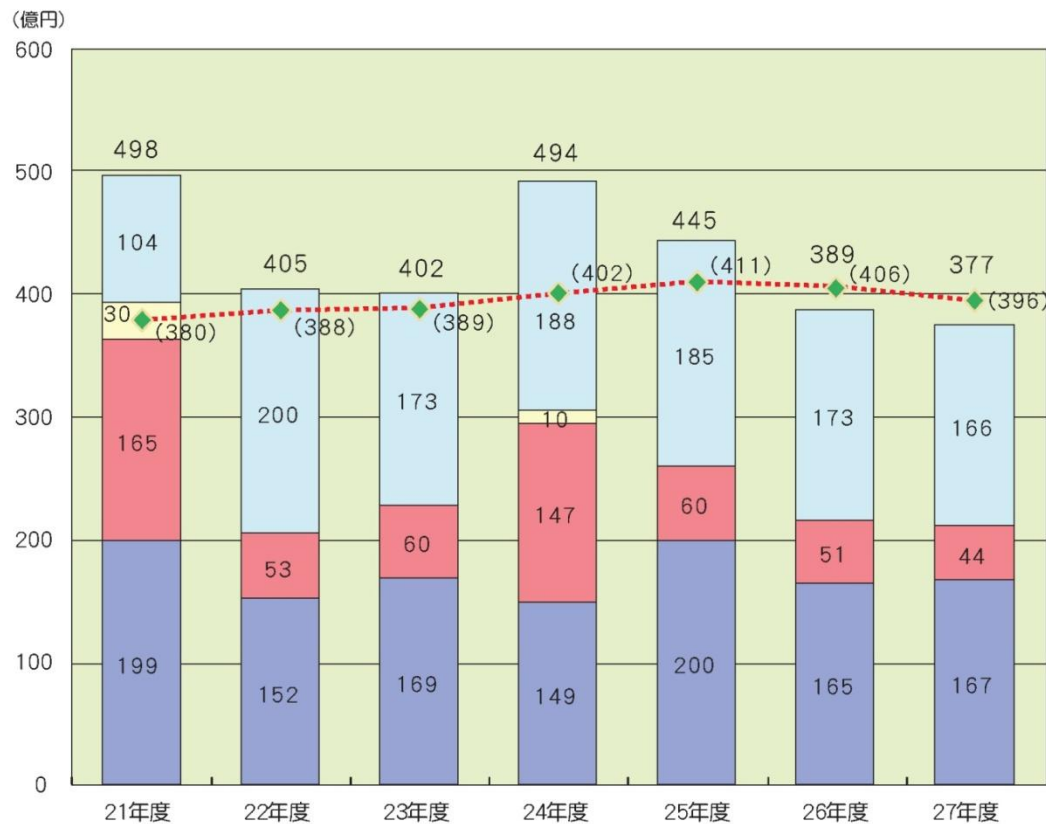
区 分		23年度2月 現計予算	24年度 当初予算	25年度	26年度	27年度
歳 入	市 税	1,236	1,212	1,236	1,255	1,255
	地方譲与税・県税交付金等	180	178	174	182	191
	地方交付税(臨時財政対策債を含む)	312	335	329	307	294
	国・県支出金	552	497	507	497	501
	市 債	293	306	260	216	211
	その他の歳入	266	198	193	176	176
	歳入合計(A)	2,839	2,726	2,699	2,633	2,628
歳 出	人 件 費	475	470	461	460	459
	扶 助 費	512	517	537	557	574
	公 債 費	390	402	411	406	396
	投資的経費	566	552	527	442	445
	その他の経費	896	845	842	842	852
	歳出合計(B)	2,839	2,786	2,778	2,707	2,726
財源不足額(A-B)	0	△ 60	△ 79	△ 74	△ 98	
基金充当額		60				
年度末基金残高見込額	122	84				
年度末市債残高見込額	3,091	3,103	3,071	3,013	2,972	
(臨時財政対策債込み)	(4,057)	(4,215)	(4,318)	(4,373)	(4,430)	
経常収支比率	92.8%	94.9%	94.5%	94.4%	94.5%	
実質公債費比率	12.5%	13.1%	13.3%	13.1%	13.1%	

### 4 今後の対応

- ・ 行財政改革推進大綱実施計画の着実な実施
- ・ 雇用拡大・就労促進・健康づくりなどによる扶助費(生活保護費等)の大幅な増加への対応
- ・ 利用可能な基金等の活用
- ・ 市債の適正な管理

# 今後の見通し ～ 市債発行額、公債費の見込み ～

## 今後も適正に市債を管理



### 【推計の前提】

- 21、22、23年度は実績額
- 24年度は当初予算額
- 25年度以降は「財政の中期見通し」  
(平成24年2月公表)

# 今後の見通し ～ 市債残高の見込み（普通会計）～

## 臨時財政対策債を除くと緩やかに減少



### 【推計の前提】

- 21、22、23年度は実績額
- 24年度は当初予算額
- 25年度以降は「財政の中期見通し」（平成24年2月公表）、23年度実績を反映

## 今後の見通し ～ 格付け～

**Aa3 (ダブルエースリー)**  
**[格付けの見通し：安定的]**  
**BCA (自治体固有の信用力)：a1**

格付け会社：ムーディーズ

ムーディーズで格付けを取得している自治体

### 格付け評価の概要

- 国内比較において、少ない債務負担
- 柔軟性のある財政構造

Aa 3 (BCA : a1)	静岡県・広島県・福岡県・札幌市 浜松市・堺市・福岡市
Aa 3 (BCA : a2)	新潟県・名古屋市・京都市・大阪市

お問い合わせ先

**静岡市財政局財政部財政課**

〒420-8602

静岡市葵区追手町5番1号

TEL 054-221-1026

FAX 054-221-1749

E-mail [zaisei@city.shizuoka.lg.jp](mailto:zaisei@city.shizuoka.lg.jp)

※ 本資料に掲載する内容について、無断複写・転載はご遠慮ください